

令和7年度みどりの総合講座

(旧樹木と緑化の総合技術講座)

開催日

○前期講座 (対面式)

令和7年6月3日(火)～6日(金)

○後期講座 (対面式)

令和7年9月1日(月)～4日(木)

主 催

○一般財団法人 日本緑化センター

後 援

○公益社団法人 日本造園学会

○樹木医学会

○一般社団法人 日本植木協会

○一般社団法人 日本樹木医会

○一般社団法人 日本造園組合連合会

○一般社団法人 日本造園建設業協会

○一般財団法人 日本造園修景協会

○一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会

こんな方におすすめします

樹木や緑化など
みどりに関心
のある方

企業や行政の
新人研修の場
を探している方

専門技術者で
もう一度基礎
から学びたい方

樹木医試験など
資格取得に
挑戦したい方

■受講者の声

- 有名講師の先生方の講義を繰り返し視聴することができて本当によかった。
- 基礎知識から最近のタイムリーな問題まで幅広く学べてよかった。
- 難しい講座かもしれないと心配だったが、わかりやすく楽しい説明だったので、とても勉強になった。
- 樹木や草花について幅広く色々な事が学べて楽しかった。
- 全体を通して最新の知見に基づいた講義が多く、とても有益であった。書籍の販売も充実していて、受講者に対する配慮が細部になされていた。
- 造園の立場、樹木医としての立場、研究者としての立場など、それぞれの立場からの話を聞くことができ、自分ももっと勉強して高い専門性を身に付けたいと思った。受講を勧めてくれた会社の計らいに感謝している。
- 「樹木医の手引き」を執筆されている先生が担当された講座もあり、知識の定着として非常に有意義であった。
- お話はどれも興味深く面白かったが、動画の収録時間が短い先生もいて、もっとたくさんお話を聞いていたかった。
- 今回受けた講義をもう一度整理し、今後の仕事に生かせるようにしていきたいと思った。
- 現場を点検する際に見るべき所や、植栽時の留意点についても学ぶことができ、非常に勉強になった。
- 樹木に現れた病徴が、生理的なメカニズムの面からもわかるようになり、体系的に学べるよい機会となった。仕事を進める上でも大きな手助けになると思う。
- 様々な職種の方がそれぞれの目的を持って受講しており、いい意味で刺激を受けた。



この講座は造園 CPD・樹木医 CPD の認定プログラムです (申請中)。
講座内容は当センターホームページでご覧いただけます。

https://www.jpgreen.or.jp/event/jyumoku_ryokka/index.html

《はじめに》

近年、社会環境が激しく変動する中で、求められる森林・緑地の役割も、地域環境の改善や生活空間の改善、景観アメニティの向上などの身近な視点で考えるものから、地球環境保全や生物多様性保全、防災力の強化などのよりスケールの大きな視点で取り組むべきものまで多様化しています。

このように多様化されたニーズに対応していくためには、樹木に関わる科学的知識と緑化に関する最新の知見に基づいた総合的な学習の場が求められています。

本講座は、みどりに深く係わる様々な主体の皆様を対象として、一般の方にもわかりやすいカリキュラムで構成し、緑化事業の適正な実践のための基礎が学べるものとしてスタートし、今年で 26 回目を迎えます。

本講座では、樹木の生態から緑化技術、維持管理技術など、みどりに関わる基礎知識を修得するとともに、樹木の生態や構造、維持管理の必要性を理解し、現場での様々な課題を解決するための手法をトータルで学ぶことができます。

是非、みどりに関心のある方はもちろん、行政担当者の新人研修や専門技術者の基礎の見直しの場としてご活用いただきますよう、ご案内申し上げます。

皆様のご参加をお待ちしております。

1. 開催日時・場所

本講座は前期と後期に分けて開催いたします。

(1) 前期講座 (対面式)

1) 期 間：令和 7 年 6 月 3 日 (火) ～ 6 日 (金)

2) 場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター

(東京都渋谷区代々木神園町 3-1 TEL. 03-3467-7201)

(2) 後期講座 (対面式)

1) 期 間：令和 7 年 9 月 1 日 (月) ～ 4 日 (木)

2) 場 所：ホテルマークワンつくば研究学園 リベラホール

(〒305-0817 茨城県つくば市研究学園 5-13-5 TEL.029-875-7272)

(有)古平園 (〒300-3262 茨城県つくば市蓮沼 10)

国立科学博物館 筑波実験植物園 (〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1)

つくば市研究学園駅前公園 (〒305-0818 茨城県つくば市学園南 2-1)

2. 受講料 (税込) 《前期》11,000 円/日、《後期》16,000 円/日、8 日間受講・1 割引

※ 受講料は原則として前払いです。

※ テキスト代を含みます。

※ 宿泊費・交通費は含みません。

※ 受講は 1 日単位です。科目単位での受講はできません。

※ 同一会社内複数同時のお申し込みで合計 8 日間 (以上) の参加については 1 割引きとなります (例えば、社員 A が 3 日間受講、社員 B が 5 日間受講などのケース)。

(詳しくはお問い合わせください。賛助会員割引との併用はできません。)

※ 日本緑化センター賛助会員の受講料は参加日数にかかわらず上記受講料の 2 割引きです。ご自身で日本緑化センター賛助会員 (右の QR コードからご確認ください) についてご確認のうえ、賛助会員の方は受講申込書に法人名を記入してください。(8 日以上参加割引との併用はできません。)

※ 後期昼食代金は受講料に含まれます。ただし、昼食を希望しない場合の返金はしません。



3. 「自然再生技術研修会」として位置づけ (<https://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p07.html#houhou2>)

この講座は「自然再生士登録更新対象講座」として位置付けています。前期4日のうちいずれか**2日以上**を受講すると、自然再生士登録更新要件となります。

対象者は自然再生士10期2258番～12期2599番、有効期限2028年3月31日までの自然再生士（失効者を含む）です。自然再生士更新対象の皆様へ「令和7年度自然再生技術研修会 修了証」を発行しますので、受講申込書に自然再生士登録番号をご記入ください。更新時期については修了証・備考欄をご覧ください。自然再生士登録更新には別途申請手続きが必要です。

4. 「緑サポーター養成研修」として位置づけ (<https://www.jpgreen.or.jp/supporter/index.html>)

この講座は「緑サポーター養成研修」として位置付けています。本講座を6日以上受講し、規定の登録申請書の提出および登録料を納付すると「緑サポーター」として登録します。

「緑サポーター」とは、樹木医の指導の下で緑の保全に関する相談、指導等の補助的な活動を行う者です。平成11年から開始され、令和7年3月1日現在1,502名（登録者）が緑サポーターとして登録され、そのうち22名が樹木医となり活躍しています。

「緑サポーター」に登録後、樹木医の指導の下で年間30日間活動を行うと樹木医研修受講者選抜試験の一年分の実務経験となります。緑化関係以外の職業の方も樹木医試験にチャレンジし樹木医になる道が開けます。ただし、**日本緑化センターは樹木医の斡旋はしておりませんので、ご指導いただく樹木医はご自身でお探しいただきます。**

5. 定員 ≪前期≫100名/日、≪後期≫40名/日

6. 宿泊

講座に参加される方は、最寄りのホテル等を各自ご利用下さい。

≪参考≫講座会場に宿泊利用することができます。お手配は各自お願いします。

前期会場・国立オリンピック記念青少年総合センター宿泊棟 <https://nyc.niye.go.jp/facilities/dormitories>

後期会場・HOTEL MARK-1 TSUKUBA <https://mark-1.jp/tsukuba/>

7. 参加申込み

参加ご希望の方は「受講申込書」に所定の事項をご記入の上、≪前期≫**令和7年5月20日（火）**まで、≪後期≫**令和7年8月18日（月）**までに、メールまたは FAX または郵便にてお申し込み下さい。前期後期とも定員になり次第締め切ります。

8. 受講のキャンセルについて

受講を事前キャンセル（キャンセル締切：≪前期≫**令和7年5月27日**、≪後期≫**令和7年8月25日**）された場合は受講料をお返しいたします。ただし、受講通知発送等事務手数料（2,200円（税込）・資料印刷代を含む）および返金のための振込手数料（実費）をご負担いただきます。

10. 申込み・問合せ先

一般財団法人日本緑化センター緑化事業部（講座担当：小田川）

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-2-29 K,I,H ビル 2F

TEL:03-6457-5218（講座）／FAX：03-6457-5219／Email：sougouk@jpgreen.or.jp

令和7年度「みどりの総合講座」≪前期（座学・対面）≫ オリピックセンター

植物の学習コース		9:15~10:45	11:00~12:30	13:30~15:00	15:15~16:45
6月3日	◎	みどりに関心 植物の生育環境とその分布 濱野 周泰 元東京農業大学 教授	芝及び地被植物の基礎知識 高橋 新平 東京農業大学 教授	草本植栽の基礎知識 奥 峰子 (有)ホリーホックガーデン 代表	植物の構造と生理生態 福田 健二 東京大学 教授
	◎				
	◎				
	◎				
病害・虫害の学習コース		9:15~10:45	11:00~12:30	13:30~15:00	15:15~16:45
6月4日	○	樹木腐朽病害の基礎知識 服部 力 (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究ディレクター	樹木病害の基礎知識 金子 繁 元(独)森林総合研究所 関西支所長	樹木虫害の基礎知識 北島 博 (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部研究企画科	農薬の取り扱い方法 相川 宏史 (株) ニッソーグリーン
	◎				
	◎				
	◎				
緑地管理の学習コース		9:15~10:45	11:00~12:30	13:30~15:00	15:15~16:45
6月5日	◎	造園植栽の基礎知識 山本 紀久 (株) 愛植物設計事務所会長	ガーデンキュレーターの緑地管理 小島 理恵 Q-GARDEN 代表取締役	樹木管理の基礎知識 内田 均 (一社) 日本庭園協会会長	土壌の基礎知識 水庭 千鶴子 東京農業大学 教授
	◎				
	◎				
	◎				
自然共生の学習コース		9:15~10:45	11:00~12:30	13:30~15:00	15:15~16:45
6月6日	◎	地域性植物の基礎知識 上條 隆志 筑波大学 教授	グリーンインフラの基礎知識 日置 佳之 鳥取大学 特任教授	都市型水害の抑制 森本 幸裕 (公財) 京都市都市緑化協会 理事長	竹の生態と有効活用 柴田 昌三 京都大学 教授
	◎				
	◎				
	◎				

令和7年度「みどりの総合講座」≪後期（実践・実習）≫ ホテルマークワンつくば他

植栽基盤の学習コース		9:00~10:15	10:15~11:30	13:00~15:00	15:15~17:00
9月1日	◎	植栽基盤の調べ方 牧 隆 元ダイトウテクノグリーン(株) ホテルマークワン	土壌改良 鈴木 信晶 東光園緑化(株) ホテルマークワン	長谷川式等調査器具実習 牧 隆・澤田 健二 ダイトウテクノグリーン(株) 古平園	土壌改良実習（割竹工法・ダガー） 鈴木 信晶 東光園緑化(株) 古平園
	◎				
	◎				
	◎				
病害・虫害の学習コース		9:00~10:15	10:30~11:45	13:00~16:30	
9月2日	◎	樹木の病害診断と対策 金子 繁 元 森林総合研究所 ホテルマークワン	樹木の虫害診断と対策 北島 博 (国研)森林総合研究所 ホテルマークワン	樹木の病害・観察実習、樹木の虫害・観察実習 金子 繁、北島 博 (国研)森林総合研究所 筑波実験植物園	
	◎				
	◎				
	◎				
造園技術の学習コース		9:00~12:30		13:30~17:00	
9月3日	○	樹木剪定実習 古平 貞夫・古平 亘 (有)古平園 代表 (有)古平園		樹木移植実習 成田 信治・古平 亘・野口 淳 (株)山本造園・(有)古平園・(一財)日本緑化センター (有)古平園	
	◎				
	◎				
	◎				
樹木点検の学習コース		9:00~12:00		13:30~17:00	
9月4日	○	樹木の安全点検の方法（留意点、課題、安全管理） 高村 聡（調整中） (一財)日本緑化センター ホテルマークワン		樹木の安全点検実習 高村 聡（調整中） (一財)日本緑化センター つくば市研究学園駅前公園	
	◎				
	◎				
	◎				

◀ 前期 (座学) ▶ 講座概要

	講義科目・講師名	講義のポイント	受講者の声 (参考)
植物のしくみ学習コース	○植物の生育環境とその分布 濱野 周泰 元東京農業大学教授	植物の生育に係る環境要因を確認するとともに、植物の自然分布や植栽分布について学ぶ。	○環境や気候区分と植物の生育について、非常に分かりやすい語り口で解説されるので、とてもわかりやすかった。
	○芝及び地被植物の基礎知識 高橋 新平 東京農業大学造園科学科 教授	芝草及び地被植物の特性を確認するとともに、現場での事例を踏まえ、育成管理等に係る留意事項について学ぶ。	○芝についての知識に乏しかったので手頃な講義を探していたが、芝の様々な品種の紹介からその維持管理方法までが解説されており、とてもよかった。
	○草本植栽の基礎知識 奥 峰子 (有)ホリーホックガーデン代表取締役	草本植物の特性を確認するとともに、様々な公園で行われた植栽の実績を例に、花壇の植栽・管理に係る留意事項について学ぶ。	○先生の軟らかな語り口で草花の魅力が十分に紹介され、実際にこの講義で紹介された庭園や公園に行ってみたくなった。たぶん見る目が変わると思う。
	○植物の構造と生理生態 福田 健二 東京大学農学生命科学研究科 教授	植物の構造を正しく理解し、都市環境という難しい植栽環境の中で生き抜くことの難しさと植物の生存戦略について学ぶ。	○植物の生理生態から光合成のメカニズムまで、非常に高度な内容だったが、話がおもしろく引き込まれ、興味がでた。
病害・虫害の学習コース	○樹木腐朽病害の基礎知識 服部 力 森林総合研究所	倒木等の大きな原因のひとつである木材腐朽病害について、発生メカニズムや見分け方、対応策等について学ぶ。	○代表的な腐朽病害について、そのメカニズムや特徴を詳しく学べたので、ようやくクライアントに倒木のリスクや必要な対策について説明できる。
	○樹木病害の基礎知識 金子 繁 元森林総合研究所関西支所長	樹木等に害を与える主な病原体の特性と生育への影響と、その対策について学ぶ。	○病害は資料を読んでも頭に入らなかったが、講義で系統立てて解説されていたので、知識として定着した。
	○樹木虫害の基礎知識 北島 博 森林総合研究所 企画部研究企画科科长補佐	樹木等に害を与える主な虫害の特性と生育への影響と、その対策について学ぶ。	○虫害は苦手とする分野で、虫がいないと判別できなかったが、虫がいなくても、発生時期やフラスの特徴、脱出口の大きさから想定できる事に驚いた。
	○農薬の取り扱い方法 相川 宏史 (株)ニッソーグリーン 開発・海外マーケティング 部長	病害、虫害の講義を踏まえた適正な薬剤の選択方法と使用量、適正な散布方法について学ぶ。	○農薬は造園業者であれば避けて通れない分野ですが、その概要を理解する意味では最新の知見を学べるので、現場レベルで非常に役に立つ。
緑地管理の学習コース	○造園植栽の基礎知識 山本 紀久 (株)愛植物設計事務所 会長	植物の管理を行っていくための基本的考え方を確認するとともに、育成管理・維持管理に係る留意事項について学ぶ。	○書籍「造園植栽術」をベースとして、その重要なポイントを絞って構成されており、必ず押さえるべき基本を学ぶことができた。
	○ガーデンキュレーター的緑地管理 小島 理恵 Q-GARDEN 代表取締役 NEW	ガーデンキュレーター (緑地全体の統括監視責任者) が実施する緑地設計の意図を汲んだ管理の重要性について学ぶ。	令和7年度 NEW!
	○樹木管理の基礎知識 内田 均 (一社) 日本庭園協会 会長	植物の管理を行っていくための基本的考え方を確認するとともに、育成管理・維持管理に係る留意事項について学ぶ。	○樹木の管理、特に剪定についての様々な事例と、街路樹における塗布剤や支柱のあり方に至るまで、様々な根拠に基づき解説され、目から鱗の講義。
	○土壌の基礎知識 水庭 千鶴子 東京農業大学造園科学科 教授	土壌学の基礎や植物との係わりを確認するとともに、植栽基盤の望ましいあり方 (物理性・化学性) について学ぶ。	○土壌の基礎知識はもちろん、樹木の植栽基盤としての土壌とは何か? また、その状態を評価するための調査方法まで学べたのがよかった。
自然共生の学習コース	○地域性植物の基礎知識 NEW 上條 隆志 筑波大学生物資源科学類 教授	安易な外来種利用による課題を理解し、自生種 (在来植物) を用いた緑化手法と生態系の回復や、火山生態系における荒廃地の植生回復について学ぶ。	令和7年度 NEW!
	○グリーンインフラの基礎知識 NEW 日置 佳之 鳥取大学農学部特任教授	自然環境がもつ多様な機能をインフラ整備に活用するグリーンインフラの仕組みについて確認し、自然再生の視点から各国の取り組みについて学ぶ。	令和7年度 NEW!
	○都市型水害の抑制 NEW 森本 幸裕 京都大学名誉教授 (公財) 京都市都市緑化協会理事長	屋上緑化や雨水貯留機能を造園的デザインに融合させた「雨庭」の考え方を確認し、都市型水害の抑制について学ぶ。	令和7年度 NEW!
	○竹の生態と有効活用 NEW 柴田 昌三 京都大学大学院地球環境学舎教授	日本全国で管理者を悩ませている竹や笹 (ササ) の生態的特徴と管理について正しく理解し、竹や笹の価値とその活用方法について学ぶ。	令和7年度 NEW!

※講師及び内容について一部変更することがあります。

《後期（実践・実習）》講座概要

	講義科目・講師名	講義のポイント	受講者の声（参考）	
植栽基盤の学習コース	○植栽基盤の調べ方（室内） ○長谷川式等調査機器実習（室外） 牧 隆 元ダイトウテクノグリーン(株) 澤田 健二 ダイトウテクノグリーン(株)	・緑化植物の生育を大きく左右する植栽基盤整備の設計・施工・管理について、具体的なデータと実例をもとに、各業務段階で必要な調査のポイント、進め方について学ぶ。 ・各種の調査機器の使用方法和作業手順、使用時の留意事項等について学ぶ。	○長谷川式土壌貫入計、長谷川式透水試験器、山中式土壌高度計など、測定機器の一連の使用方法について体験できた。 ○はじめて測定機器に触れることができてよかった。植栽基盤の重要性を改めて認識できた。	
	○土壌改良の方法（室内） ○土壌改良実習（室外） 鈴木 信晶 東光園緑化(株)		・大規模なものから小規模なものまで、土壌改良の方法を確認し、実際の施工事例をもとに、それぞれの手法の特徴について学ぶ。 ・実習地において、割竹やダガーを使用した小規模な土壌改良の方法と手順、使用時の留意事項等について学ぶ。	令和7年度 NEW！
病害・虫害の学習コース	○樹木の病害診断と対策（室内） ○樹木の病害観察実習（室外） 金子 繁 元森林総合研究所関西支所長	・緑化木に発生する病害の病原体とその生態、防除対策等について学ぶ。 ・筑波実験植物園において、実際に樹木の葉、枝、幹、根に現れる病斑や病徴・標徴を見学する。	○最初に標本を使った講義を受けた後、実験植物園に行ったのがよかった。 ○木の葉や幹、枝に発生する様々な病徴を、葉の斑点や色、幹や枝の異常（腐朽・瘤）などを直接見ながら、観察する部位や場所、診断ポイントなどを学ぶことができた。	
	○樹木の虫害診断と対策（室内） ○樹木の虫害観察実習（室外） 北島 博 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部研究企画科 科長補佐	・緑化木に発生する虫害の見分け方と診断のポイント、その防除対策について学ぶ。 ・筑波実験植物園において、木の葉や幹、土の中などに産み付けられた虫の卵、幼虫や蛹、食害痕などを観察する。 ・虫害の発生しやすい夏期に実際にフィールドで実物を確認する	○木の葉や幹、土の中などに産み付けられた虫の卵、幼虫や蛹、食害痕などを直接見ながら、観察する部位や場所、診断ポイントなどを学べたのがとても勉強になった。 ○発生時期、穿入孔、フラス、脱出口の形状から、昆虫を想定するのが探偵みたいでおもしろかった。	
造園技術の学習コース	○樹木剪定実習（室外） 古平 貞夫、古平 亘 (有) 古平園	・常緑樹や落葉樹の特性を活かした剪定手法の実演を見学し、剪定前の事前準備から、高木や低木を対象とした剪定方法や、作業上の留意点等を学ぶ。 ・実演の後、高木剪定、透かし剪定、低木の刈り込みまで、基本的な剪定方法の一連の流れを実際に体験する。	○はじめて脚立に登り、剪定鋏を使ったので緊張したが、講師の指導で安全にこなす事ができた。 ○剪定によって樹木の印象が大きく変わることにびっくりした。	
	○樹木移植実習（室外） 成田 信治 (株) 山本造園 古平 亘 (有) 古平園 野口 淳 (一財) 日本緑化センター	・各種の移植の手法について、根回し手法、掘取から根巻き、運搬から植え付けまでの一連の流れと、作業上の留意点等を学ぶ。 ・実演の後、林試移植法による環状剥皮や、低木を対象として掘取りから陸巻き、人力による運搬から立て込み、植え付けから水極めまで、基本的な移植方法の一連の流れを実際に体験する。	○断根法でも大量に発根していたのでびっくりした。 ○剥皮部の根元側から集中的に発根しているのが、教科書のイラストと同じで感動した（造園コンサル）。 ○思ったよりも形成層が堅いのに驚いた。木部を傷つけずに取り除くのが難しかった。	
樹木点検の学習コース	○樹木の安全点検の方法（室内） ○樹木の安全点検実習（室外） 高村 聡ほか（講師調整中） (一財) 日本緑化センター		・樹木医ばかりでなく、造園技術者等が実施できる樹木の点検方法を学ぶ。 ・樹木の大枝、幹、根元について、点検時に見るべきポイントと見逃しがちな留意点について学ぶ。 ・実習地において、班に分かれ実際に点検を実施し、点検結果を各自で取りまとめた後、講師によるフィードバックにより気づきを得る。 ※樹木の点検とは、診断の前段階として、スクリーニングをかけて外観診断を行う樹木を抽出する作業のこと。	令和7年度 NEW！

※講師及び内容について一部変更することがあります。

みどりに関心

樹木や緑化など、漠然とみどりに関心のある方におすすめです。

まずは植物の基礎を学んでみてはいかがでしょうか。

新人研修

企業や行政の新人研修の場を探している担当者におすすめです。

ここまでみどりについて網羅された講座はなかなかありません。

専門技術者

専門技術者で、もう一度基礎から学びたい方におすすめです。

部下に立派な背中を見せるためにも、振り返りの時間は必要です。

資格取得

樹木医試験等の資格取得に挑戦したい方におすすめです。

書籍だけでは得られない知識をおさえましょう。